

第七十四回帝國議會
衆議院

青年學校教育費國庫補助法案委員會會議錄(速記)第七回

付託議案
青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

會議

昭和十四年二月二十五日(土曜日)午前十時
三十七分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事長野 高一君 理事會和 義式君

手代木隆吉君 佐藤 與一君

長野 長廣君 樋口善右衛門君

田子 一民君 坂本宗太郎君

河合 義一君 椎尾 辨匡君

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 男爵平沼騏一郎君

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 青木 一男君

文部參與官 野中 徹也君

文部省普通學務局長 藤野 惠君

文部省社會教育局長 田中 重之君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

青年學校教育費國庫補助法案(政府提出)

○野村委員長 ソレデハ是カラ開會致シマス

ス——佐藤君

○佐藤委員 平沼首相ハ、時局極メテ重大

デアツテ國歩甚ダ艱難ノ際 天皇陛下ノ御

信任ニ依リ輔弼ノ大任ヲ擔ハセラレタノデ

アリマスガ、其ノ組閣後所信ヲ天下ニ聲明

シ、後又我が肇國ノ大理想タル萬民輔翼ノ

大道ヲ議會ヲ通ジテ中外ニ宣示セラレマシ

タコトハ、國家ノ爲洵ニ慶賀ニ堪ヘザル所

デアリマス、此ノ萬民輔翼ニ依ツテ、一君

ノ大業デアアル所謂世界ニ於ケル道德政治ヲ

完成スルコト、即チ 陛下ノ御稜威ヲ世界

ニ推弘メントスル我が肇國ノ理想ニ付キマ

シテハ、總理大臣ハ、勿論總理大臣トシテ

始メテ宣明セラレタ所デアリマスケレドモ、

之ニ對スル總理ノ信念ハ、夙ニ總理ガ抱懷

セラレテ居ツタ所デアルト信ジマスガ、ソ

レハ凡ソ何時頃カラデアリマスカ、又數年

前マデハ我が國情ハ斯ウ云フコトヲ大膽ニ

發表スルコトガ出來ナカツタヤウニ存ズ

ルノデアリマスガ、總理大臣ハ會テ此ノコ

トニ付テ御發表ニナツタコトガアリマスカ

ドウカ、先ヅ此ノ二點ニ付テ承リタイノデ

アリマス、且ツ其ノ御所信ニ付キマシテ、

若シ出來得マスルナラバ今少シ詳細ニ御發

表ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○平沼國務大臣 佐藤君ノ御質問ニ御答ヲ

致シマス、私御質問ノ趣旨ヲ了解致シタ積

リデアリマスガ、或ハ一寸御問ノ點ヲ外レ

ルカモ知レマセスカラ、其ノ時ハ又再ビ御

尋ヲ願ヒタイト思ヒマス、是マデ私ガ大命

ヲ奉ジテ後ニ話シマシタコトヲ、前ニ發表

シタコトガアルカト云フコトガ御尋ノ第一

點ノヤウニ考ヘマス、是ハ豫テ自分ハ教化

ノ運動、殊ニ教化團體ノ一員ト致シマシテ、

是マデ東京ニ於キマシテモ、地方ニ於キマ

シテモ、自分ノ所懷ノ一端ヲ話シマシタコ

トハ度々ゴザイマス、其ノ根本ニナリマス

ル點、即チ我が國體ニ關シマスルコト、又

我が固有ノ道、之ニ關スルコトハ青年層ニ

對シマシテ、又中年層ニ對シマシテモ話シ

マシタコトモゴザイマスルシ、又書イタモ

ノデ自分ノ意見ヲ述ベタコトモゴザイマス、

要スルニ其ノ要點ト致シマスル所ハ、我

國ノ一君萬民ノ御國體、即チ萬世一系ノ皇

室ヲ國民全體ガ奉戴致シマシテ、輔翼ノ誠

ヲ盡スト云フコトガ趣旨デゴザイマス、即

チ我が皇室ニ於カセラレマシテハ古ヨリ萬

民ノ輔翼ヲ御望ミニナリマス、萬民ハ又此

ノ御趣意ヲ奉戴シテ輔翼シ奉ルト云フコト

ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ其ノ輔

翼ノ責任ハ、萬民其ノ職業ノ如何ニ拘ラズ

總テ之ヲ負擔シナケレバナラヌト云フコト

ガ、私ノ是マデ述ベマシタコトノ趣旨ニナ

リマス、即チ輔翼ト申シマスルト、唯政治

方面、殊ニ公職ニアル人ノミニ付テ是マデ

考ヘラレテ居ツタ向モ多イヤウデアリマス、

併シソレハサウデハナイ、職業ノ如何ニ拘

ラズ、總テ我が國民ノ任務ハ輔翼ト云フコ

トニ歸著スルト云フ趣意デゴザイマス、即

チ農業デアリマシテモ、工業デアリマシテ

モ、商業デアリマシテモ、總テ其ノ職分ニ

依ツテ各自ガ努メマスルコトハ即チ輔翼ト

云フコトニ歸著スルノデアアル、即チ是ハ私

ヲ棄テテ公ニ奉ズルト云フコトニ結局歸著

スルノデアリマス、之ヲ是マデ述ベマシタ

コトハゴザリマス、殊ニ青年層ニ對シマシ

テハ、此ノ事ハ自分モ教化團體ノ一員デア

リマスル關係上、力說致シテ居リマシタノ

デゴザリマス、是ガ第一點ノ御尋ノヤウニ

考ヘマス

ソレカラ次ハ、之ヲ何時カラ實行スルカ

ト云フ御尋ノヤウニ承リマシタ、サウデゴザイ

マシタカ(佐藤委員)イヤ、何時頃カラ御述ニ

ナリマシタカ(ソレハモウ十數年前カラ述

ベテ居リマス、唯言葉ノ上ニ於キマシテハ、

時勢ニ應ジマシテ、又環境ニ應ジマシテ色
色言葉ハ相違ハゴザリマスルガ、大體今述
ベマシタ趣意ヲ説イテ居リマス

○佐藤委員 重ネテ御伺致シマス、是ハ間
違ツテ居ルガモ知レマセヌケレドモ、首相
ノ御言葉ヲ私ノ解釋致シマスル所ニ依リマ
スト、萬民ト云フノハ、實ニ我が大日本帝
國ノ臣民ダケデナク、世界ニ於ケル有ユル
民族、其ノ民族ノ中ニ、我が皇室ノ御稜威ヲ
畏シデ之ニマツラフモノガアルナラバ、之
ヲモ萬民ノ中ニ入レマシテ、ソレ等ノ民ニ
對シテモ我が 天皇陛下ノ御仁慈ヲ垂レサ
セ給フコト、即チ御稜威ヲ世界ノ有ユル隅
隅ニマデ及ボスコトガ萬民輔翼ト云フ意味
デアツテ、此ノ意味ニ於テ首相ガ御述ニ
ナツタノデアルト考ヘテ居ツタノデアリマ
スガ、サウデナクテ、唯我が大日本帝國ノ
臣民ダケヲ御指シニナルノデアリマセウ
カ、ドウデアリマセウカ、御伺致シマス

○平沼國務大臣 餘程難カシイ御質問ト思
ヒマス、私が萬民輔翼ト申シマスノハ、詰
リ皇室ノ下ニ生ヲ享ケテ居リマスル臣民ノ
コトヲ指シマシタ、即チ憲法ニ示シテアリ
マスル臣民、即チ是ハ日本ノ國民ト云フコ
トニナルト思ヒマス、私が只今萬民ト申シ
マスノハ其ノ意味デ申シテ居ルノデゴザイ

マス、唯皇室ノ御稜威ハ固ヨリ國內ニノミ
普及スベキモノデハゴザリマセヌ、世界全
體ニ無論皇室ノ御德ハ普及致スベキモノデ
ゴザリマスシ、又是ハ吾々臣民ガ斯ノ如ク
相成リマスヤウニ努メンケレバナラスノデ
ゴザリマス、所謂八紘一字ノ天業ハ茲ニ歸
著スルノダラウト思ヒマス、唯斯ノ如キコ
トハ、外國ニ對シマシテ誤解ヲ招キマスコ
トハ、宜シクゴザイマセヌ、八紘一字ノ天業
ト云フコトハ、只今世間デ申シマス領土ト
カ云フコトトハ離レタ問題デアリマス、即
チ御稜威ガ及ブト云フコトハ、其ノ御德ガ
及ブト云フ意味デゴザリマス、此ノ點ニ向
ツテハ吾々臣民ガ斯ノ如ク八紘一字ノ天業
ノ完成スルヤウニ輔翼ヲ申上ゲンケレバナ
ラス、此ノ意味デゴザイマス、今萬民輔翼
ト申シマスノハ、只今ノ情勢ニ於キマシテ
日本國臣民ト云フコトニ是ハ御解釋ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○佐藤委員 サウ致シマス、現在ノ大日
本帝國ノ臣民ダケニ限ツテ御考ニナツテ居
ルノデアリマケスレドモ、段々我が國威ガ
揚リマシテ、サウシテ世界ノ各方面ニ於テ
我が皇室ノ御稜威ニマツロフヤウナモノガ
出テ來タ場合ニ於テハ、之ヲモ含メテ我が
臣民ト見ルコトガ出來ルト云フ御意見デア

ルト解釋シテ宜シイト思フノデアリマス、
實ハ私が先刻御尋致シマシタノモ、嘗テ斯
ウ云フ御意見ヲ御述ニナツタコトハナイ
カ、又何時頃カラ御述ニナツタカト云フ
コトヲ御聽キ致シマシタノモ、此ノ點ニ付
テ御聽キシタノデアリマシテ、私ハ國家ニ
ハ大キイ理想ガアリ、大使命ガアルノデアツ
テ、是ガ所謂天業ヲ恢弘シ天下ヲ光宅スル
ト云フコト、八紘ヲ掩ウテ宇トスルト云フ、
アノ神武天皇ノ仰セラレタコトデアルト考
ヘルノデアリマシテ、只今外國ノ關係ガア
ルカラト云フ御話モアリマシタガ、之ヲ申シ
マス、申述ベ方ニ依リマシテハ外國ノ誤
解ヲ招クコトガアルト云フ懸念ガ多分ニ含
マレテ居ルカラ、餘程注意シテ申サナケレ
バナラスノデアリマシテ、只今總理大臣ノ
仰セノ御言葉ヲ御聽致シマシテモ、餘程御
遠慮ニナツテ、外國ニ洩レルノヲ惧レラ
レテ、遠慮ノ上御發言ニナツテ居ルヤウ
ニ考ヘルノデアリマス、實ハ私ハ田中
内閣以來歷代ノ總理大臣ニ、總理大臣ト
云フ者ハ單ニ一國ノ政治ヲ主宰シテ政
務ニ執掌スルノミナラス、國民ノ先頭ニ
立ツテ國民ヲ率キテ高キ國家ノ理想ヲ示シ
テ進マンケレバナラスモノデアアル、之ヲ述
ベラレルニハ議會ニ於ケル施政方針ノ御演

説ガ最モ適當ノ機會デアリ、此ノ議會ニ於
ケル施政方針ノ演説ニ依ツテ、議會ヲ通ジ
テ國民竝ニ中外ニ宣布セラルベキデアルド
云フコトヲ進言シ來ツタノデアリマス、直
接ニ御會ヒスルコトモ出來ナイコトガ多ク
アツタノデアリマスガ、其ノ御返事ハ、私
的ニ申上ゲタコトデアリマスカラ多クハ、ソ
レハサウニ違ヒナイケレドモ、外國ニ對シ
テドウモ困ルト云フヤウナ御返事ガアツタ
ノデアリマス、又ソレト同時ニ、私ハドウ
シテモ其ノ施政方針ノ演説ニハ、我が皇室
ニ關スルコトヲ第一ニ申述ベテ戴キタイト
云フコトモ申上ゲタノデアリマスガ、多ク
ノ總理大臣或ハ内閣書記官長等ノ御意嚮ハ、
宮中ト府中トノ關係ハ別ニセシケレバナラ
ヌモノデアツテ、議會ニ於テ餘リ多ク宮中
ノコトヲ言フコトハドウカト思フト云フヤ
ウニ承ツテ居ツタノデアリマスガ、其ノ後
歷代ノ内閣中、林内閣ニ於テ最モ我國ノ大
理想、大使命ヲ明ニアノ議會ノ施政方針ノ
演説ノ中ニ御宣布ニナツタヤウデアリマス、
併シ其ノ行ハレタ所ハ、此ノ御發表ニナツ
タ所トハ少シ違ツタヤウデアリマスケレド
モ、兎ニ角アノ内閣ニ於テ、我國ノ大使
命大理想トスル所ヲ明ニ宣言セラレタヤウ
ニ考ヘラルレノデアリマスガ、今度ノ平沼

内閣ノアノ首相ノ御演説ニ於キマシテモ、此ノ大理想、大使命ヲ御宣布ニナツタノミナラズ、其ノ冒頭ニ於キマシテ宮中ニ關スル事 天皇陛下ニ關スルコトヲ御述ニナリマシタコトニ對シテハ、私ハ深甚ナル敬慕ノ念ヲ禁ズル能ハザルモノガアルノデアリマシテ、本日茲ニ是等ノコトヲ御伺致シマシタノモ亦此ノ感謝ノ心持カラ御伺シタ次第デアアルノデアリマス、私モ尙ホ極言致シダイコトモアルノデアリマスシ、總理大臣カラモ、モツト實際御考ニナツテ居ルコトヲ御聽キ致シタイノデアリマスケレドモ、是ハ又外國等ノ關係ガアリマスノデ、十分御述下サルコトガ出來ナイ、十分拜聽スルコトノ出來ナイコトハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、他日又段々ニ世情ガ變ツテ來マシテ、明カニ御聽キスル時代ガ近ク來ルデアラウト云フコトヲ待望シツツ、此ノ問題ニ付テハ止メテ置キタイト思フノデアリマ

ス 次ニ嘗テ平沼首相ガ財團法人修養團主催ノ中堅青年講習會ノ爲ニ新潟ニオ出デニナツタコトガアルノデアリマスガ、其ノ際首相ガ捧讀サレマシタ所ノ教育ニ關スル勅語ガ、如何ニ莊重デアリ、如何ニ大衆ニ深キ感激ヲ與ヘタカラ私ハ記憶シテ居ルノデアリマシテ、首相ハ本議會ニ於キマシテ、萬民輔翼ノ大道ハ國民ガ國體ノ本義ニ徹セネバナラスト云フ、言葉ハ是ト違フカモ知レマセヌガ、サウ云フ意味ノコトヲ御述ニナツテ居ラレルノデアリマス、サウシテ又是ガ爲ニハ大ニ教育ニ依ラナケレバナラスト云フコトヲ強調致サレマシテ、且ツ其ノ爲ニハ教育勅語ヲ奉體センケレバナラスト云フコトヲ述ベテ居ラレルノデアリマス、此ノ際私ハ平沼首相ノ申サル通り、教育ト云フモノハ國家トシテ洵ニ尊重スベキモノデアルト御述ニナツタ御言葉、ソレカラ教育勅語ヲ奉體センケレバナラスト云フ此ノ御言葉、此ノ二點ニ付キマシテ、總理大臣ノ御意ノ在ル所ヲ承ラントスルモノデアリマス、國務大臣ノ中デ、内閣總理ハ内閣ノ首班デアリマシテ、固ヨリ特異ノ地位ニ在ルノデアリマシガ、其ノ他ノ大臣ニ於キマシテハ、國務大臣トシテ輔弼ノ責ニ任ズルト云フコトニ於テハ、別ニ差別ハ無イト思フノデアリマスケレドモ、國家ニ於テ最モ必要ナル文教ノ府ニ在リマシテ、精神的ニ、又行的ニ國民ヲ指導センケレバナラスト其ノ重責ヲ持ツテ居ル所ノ文部大臣ト云フモノハ、私ハ他ノ大臣トハ幾ラカ異ツテ居ル所ノモノデハナイカト云フヤウニ感ゼラルルノデアリ

マス、即チ文部大臣ハ國民ノ儀表トシテ恥カシカラザル所ノ人物ヲ要スルモノデアツテ、決シテ伴食ノ大臣デアツテハナラスト考ヘルノデアリマスガ、總理大臣ハ如何ニ御考ニナツテ居リマスカ、最近ニ於キマシテハ極メテ適任ノ文部大臣ガ御就任セラレテ居ルコトハ國家ノ爲洵ニ慶賀ニ堪ヘナイ所デアリマス、洵ニ國民ノ意ヲ強ウスルニ足ル所ノ文部大臣ガ控ヘテ居ラレルノデアリマス、又序ニモウ一ツ御伺シタイコトハ、文部大臣ノ問題ノミナラズ、教育ノ問題ガ爾ク重大ノ問題デアラナラバ、教育ニ關スルコト、御承知ノ通り教育ノ義務ハ國民ノ三大義務ト申サレマシテ、納税ノ義務、兵役ノ義務ト並ンデ重大ナル義務デモアル、又國策上重大ナル事業デアアルノデアリマスカラ、此ノ教育ヲ規定スル所ノモノハ、過日文部大臣ニ對シテ長野委員等カラモ質疑セラレタノデアリマスガ、勅令ニ依ラナイデ、法律ヲ以テ決メテ戴クコトハ出來ナイノデアアルカドウカ、國政ニ參與シテ居ル所ノ貴衆兩院議員ノ關セザル所ノ勅令ニ依ツテ、此ノ重大ナル事項ガ決定セラ

ルルト云フコトハ、私ハ衆議院議員ノ一員トシテ甚ダ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマスガ、單ニ青年學校ノコトノミナラズ、教育ニ關スルコトハ將來法律ヲ以テ御決メ下サルコトガ出來ナイカドウデアアルカト云フコトヲ、併セテ御伺シタイノデアリマス

○平沼國務大臣 第一ノ御質問ハ、文部大臣ノ地位ニ付テノ御質問デゴザイマシタ、固ヨリ仰セノ通り文部大臣ハ、國家重要ノ事務ニ付キマシテ責任ヲ持ツテ居ル人デアリマス、此ノ人ニ重キヲ置カンケレバナラストハ申スマデモナイコトデゴザイマス此ノ事ハ總テノ國務大臣ニ通ジマシテ斯クアランケレバナラストノデアリマスカラ、決シテ國務大臣中此ノ地位ハ輕ク視ルベキモノデアルト云フコトハ斷ジテゴザイマセヌ、隨テ文部大臣ノ最モ重責ヲ負ウテ居リマ

ルコトハ仰セノ通りデアリマス

ソレカラ次ニ、教育ニ關スル法則ハ勅令ニ依ラズシテ法律ニ依ルノガ至當デハナイカト云フ御趣意デゴザイマシタ、此ノ點ニ付テハ色々論議モアリマスルコトデ在來モ承ツタコトガゴザイマス、併シ今日マデ永年勅令デ規定シ來リマシテ、只今デハ勅令事項ノ範圍ニ相成ツテ居リマス、自分ノ考ト致シマシテハ、將來モヤハリ此ノ方針ヲ續ケマシテ、教育ニ關スルコトハ勅令デ規定スベキモノト考ヘテ居リマス

○佐藤委員 私共ノ意ノ在ル所ト首相ノ御

意見ト相違シテ居ルノデアリマスケレドモ、是ハ多分私共ノ意見ガ間違ツテ居ルノデ、今マデ勅令ニ依ツタノデアツテ、將來モ勅令ニ依ル方ガ宜イト云フ御意見ニ私共ハ從ハンケレバナラスト存ズルノデアリマス、教育ヲ尊重スル立場カラ考ヘマスト、ドウモツレガ然リト承服スル能ハザルモノガアルノデアリマスケレドモ、ソレハ見解ノ相違デアツテ、如何トモスルコトガ出來ナイコトヲ遺憾ト致シマス

次ニ御何致シタイコトハ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ萬民輔翼ノ大道ハ、我が國體ニ從ツテ、政治ニ關スルト關セザルトヲ問ハズ、如何ナル事業ヲ爲ス者デモ之ニ從ツテ、上御一人ノ思召ヲ奉戴スルニアルノデアツテ、之ニ對シテハ教育勅語ヲ奉戴セシケレバナラスト云フコトヲ、施政方針ノ御演說ニハナカツタト思ヒマスケレドモ、其ノ後時々委員會等ニ於テ御述ニナツタヤウニ拜承シテ居ルノデアリマス、此ノ我國ノ所謂道德政治若クハ皇道政治ト云フモノ、即チ萬民輔翼ノ大道ト教育勅語トノ間ニハ如何ナル關係ガアルカ、勿論關係ハアルノデアリマスケレドモ、此ノ關係ニ付テ詳細ニ御述ヲ御願シタイノデアリマス

○平沼國務大臣 畏クモ 明治天皇ノ御示

シニナリマシタ教育勅語ノ御趣旨ハ、萬民ノ遵守スベキ事柄ヲ明ニ御示シニナツテ居ルノデゴザイマス、是ハ一國ノ民トシテ、又一家ノ家族トシテ斯ノ如ク致サンケレバナラスト云フコトヲ御示シニナツテ居ルノデアリマス、是ハ固ヨリ我國ニ於キマシテハ神代ノ昔ヨリ今日ニ至ルマデ少シモ變ラザル所デゴザイマス、又是ハ世界全體ニ及ボシテ決シテ謬リノナイ御教デゴザイマス、是ハ國民全體ノ總テノ關係ニ於テノ德目ヲ網羅シテ居リマストコト考ヘテ居リマス、此ノ中ニモ勿論萬民輔翼ノコトハ含マレテ居リマス、君國ニ忠節ヲ盡サンケレバナラスト云フコトハ要スルニ萬民輔翼デアルコトハ、是ハ申スマデモナイコトデアリマス、ソレカラ又極ク明ニ仰セラレテ居リマストコトハ、「天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ」ト云フコトヲ仰セニナツテ居ル、是ハ即チ萬民總テ輔翼ノ責任ガアルゾト云フコトヲ明ニ御示シニナツテ居ルコト考ヘマス、隨テ此ノ教育勅語ノ御趣意ヲ拜シマスレバ、私ノ申シマシタ萬民輔翼ト云フコトハ當然此ノ中ニ包含セラレテ居ルコト考ヘテ居リマス

○佐藤委員 只今總理ヨリ、萬民輔翼ノ大道ト教育勅語トノ關係ニ付テ明快ナル御答辯ヲ承リマシテ洵ニ欣ビニ堪ヘナイノデア

リマス、ソレニ依ツテ萬民輔翼ノ大道ハ教育勅語ノ中ニ含マレテ居ルト云フコトヲ能ク知ツタノデアリマスガ、私ハ尙ホ只今總理大臣ノ御述ニナリマシタコトノ中ニモ多少疑義ガアルノデアリマスカラ、ソレニ付テ二三承リタイト思フノデアリマス、其ノ第一ハ、只今、教育勅語ハ萬民ノ日々遵守センケレバナラスト所ノ色々ノ德目ヲ御舉ゲニナツテ、サウシテ臣民ハ之ニ依ツテ世ヲ渡ランケレバナラスト云フ意味ノ御話ガアリ、其ノ次ニ、是ハ古今ヲ一貫シテ居ル所ノモノデアツテ、神代カラ惟神ノ道ニ合致スルモノデアルト云フ御說ガアツタノデアリマス、實ハ此ノ神代ノコトガ即チ我國ノ大本デアリマシテ、我が日本ノ國ノ大使命、大理想ヲ承知スル上ニモ、又教育勅語ヲ能ク諒解スル上ニモ、此ノ神代ノコトカラ私共ハ學バナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、然ルニ教育勅語ノ最初ニ「國ヲ肇ムルコト宏遠ニ下、宏遠ナル我が肇國ノ大理想、大使命ヲ御示シニナツテ居ルニ拘ラス、國民ヲシテ之ヲ深く諒解セシムル努力ガ、政府當局ニ於テ從來足リナカツタト云フコトヲ私ハ痛感スルノデアリマス、即チ神代ニ於キマシテ天照大神、天孫瓊瓊杵尊ヲ御降シニナリマシタ時ニ御下シニナリマシタ神勅、

所謂是ハ第一神勅ト稱セラレテ居ルサウデアリマスガ、此ノ御神勅ハ小學校ニ於テモ能ク教ヘラレテ居リマス、其ノ次ノ御神勅ニナリマス、小學校ノ本ニハアルサウデアリマスガ、所謂御鏡ノ御神勅デアリマシテ、第一神勅ノ天壤無窮ノ御神勅ノヤウニハ教ヘラレテナイヤウニ私ハ感ズルノデアリマス、併シナガラ教ヘラレテ居ルコトハ事實デアリマス、所ガ其ノ次ノ第二神勅ノ中ノ只今ノ最初ノ御鏡ノ御神勅デアリマシテ、其ノ次ハ所謂稻穗ノ御神勅ト云フモノガアルサウデアリマス、此ノ御神勅ハ、我が國家ノ産業ト云フモノハ農ヲ以テ國ノ本トスルト云フ御教デアアルノデアリマシテ、單ニ農業方面ニノミ是ガ通用スルバカリデナク、有ユル産業商工業ヲ通ジ、實業ヲ以テ吾々日本國民ガ國家ノ爲ニ働カンケレバナラスト云フ思想ヲ養成スルニ極メテ必要ナル御神勅デアリマス、此ノ神勅ヲ何故小學校ノ讀本ニモ掲ゲテ御置キニナラヌカ、又小學校及ビ小學校以上ノ學校ニ御教ヘニナツテ居ラスノデアアルカ、之ヲ申シマスルノハ、文部當局ニ御伺スレバ宜イノデアリマスケレドモ、一國ノ總理大臣トシテモ亦此ノ事ニ御留意シテ戴キタイト思ヒマシテ申上ゲルノデアリマス、尙ホ其ノ次ノ第三神勅ト

云フ大事ナ御神勅ガアルノデアリマシテ、是ハ神籬磐境ニ依ツテ、即チ實物ニ依ツテ我ガ國家及ビ國民ノ關係、世界ニ無比ナル所ノ國體ヲ最モ明ニ知ラセル爲ニ、神籬磐境ヲ造ツテ、サウシテ假令吾々ガ無智デアリマシテモ能ク吞込ムコトガ出來ルヤウニアア云フ御神勅ガアルニ拘ラズ、此ノ御神勅ガ全ク顧ミラレナイ、此ノ第一、第二、第三ノ御神勅ヲ通ジマシテ我ガ國體ノ本義ガ分ルノニ拘ラズ、之ヲ小學校ニ於テ教ヘナイ、又國民ニ政府ガ之ヲ徹底セシメナイト云フコトハ如何ナル理由デアリマスカ、私ハ御伺シタイノデアリマス

○平沼國務大臣

仰セノ如ク三大神勅、即チ天壤無窮ノ神勅、齋鏡齋穗ノ神勅、神籬磐境ノ神勅、是ハ我ガ國家統治ノ基礎ニナルモノト考ヘマス、殊ニ皇室ノ君臨統治セラレル所以、萬民ノ之ヲ輔翼シ奉ル所以ノモ、此ノ三大神勅ニ基礎ヲ置クモノト考ヘマス、仰セノ通りニ天壤無窮ノ神勅ハ學校ノ教科書ニモ掲ゲラレテ、國民ノ誦ンゼザル者ハナイト考ヘマス、齋鏡齋穗ノ神勅、是モ掲ゲテハゴザイマスルケレドモ、或ハ此ノ方ハ徹底シテ教ヘラレテ居ラナイ憾ミガアルト考ヘマス、殊ニ齋鏡ノ詔ハ、是ハモウ國民全體ニ徹底シテ明ニシテ居リ

マスガ、齋鏡ノ神勅ノコトハ、只今仰セノ通り我國ノ産業ノ基礎ヲ成シ、又之ニ依ツテ生活ノ安定ヲ得セシメルト云フ、最モ皇室、御仁愛ノ教ヲ明ニシタモノデゴザイマシテ、是モ固ヨリ國民全體ハ知ラナケレバナラヌ筈デゴザイマス、此ノ點ニ付キマシテ是マデ之ヲ徹底セシムルニ付テ遺憾ノ點ガアリマシタヤウニ私モ考ヘマス、將來之ヲ徹底セシメルニ付キマシテ當局者ハ大イニ努メナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、ソレカラ神籬磐境ノ神勅ニ至リマシテハ、極メテ露骨ニ申シマスト是ハ徹底シテ居リマセヌノミナラズ、之ヲマア知ラス人モ隨分多イト思ヒマス、併シ是ハ他ノ二大神勅ト同ジク國家ノ基礎、殊ニ萬民輔翼ノ基礎ヲ成スモノデゴザイマスカラ、此ノ神籬磐境ノ神勅ノコトモ將來徹底シテ理解セシメルコトガ必要デアルト考ヘマス、是ハ先般文部省ノ出シマシタ「國體ノ本義」ト云フ一般ニ示サレテアル書物デゴザイマス、是ニハ神籬磐境ノコトハヤハリ示シテゴザイマス、將來仰セノ如ク此ノ三大神勅ハ國民ニ徹底セシムルヤウニ、教育當局者ヲシテ努メシムル考デゴザイマス

○佐藤委員 私ハ平沼内閣ノ如キ皇道の内閣的ナ内閣デナケレバ、斯ウ云フヤウナ

コトガ國民ノ間ニ普及徹底セラレナイト考ヘテ居リマシテ、特ニ平沼首相ニ御伺致シマシタ所、既ニ此ノコトニ付キマシテハ御考ニナツテ居リ、又深クセンケレバナラヌト云フ御決意ノ程ヲ拜承致シマシテ、極メテ喜ニ堪ヘナイノデアリマス

次ニ御伺申上ゲタイコトハ、教育勅語ニ於テ「爾臣民」ト仰セラレテ居ルノデアリマシテ、「爾臣民」ト云フコトハ、上ノ人モ下ノ者モ押シナベテ御指シニナルコトデアアルコトハ勿論デアリマスガ、私ハ此ノ「爾臣民」ト仰セラレ、又「億兆心ヲ一ニシテ」ト仰セラレルコトハ、實ニ現在ノ國民バカリデナク、吾々ノ先代ノ既ニ故人トナツテ居ル國民ヲモ指シ、又吾々ノ子孫——是ハ勿論「子孫臣民」ノ俱ニ遵守スヘキ所「トモ仰セラレテ居リマスカラ、御伺シナクテモ之ヲ指シテ居ルカモ知レナイノデアリマスケレドモ、唯現在ノ臣民デアルト云フコトダケシカ考ヘラレテ居ラナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此ノ「億兆」ト云フ御言葉、「臣民」ト云フ御言葉ノ中ニハ勿論、初ノ「爾臣民」ト云フハ舊來ノ臣民ダケヲ指スノデアツテ、アトノ「爾臣民」ト云フハ是カラ現在ノ臣民ヲ指スノデアルト云フヤウナ文理解釋モ出來ルノデアリマスドケレモ、私

共「爾臣民」ト陛下ニ呼バレマス時ニハ、單ニ吾々ノミナラズ、吾々ノ祖先竝ニ吾々ノ子孫ヲモ御指シニナルノデアルト解釋シタイノデアリマス、ソシテ我ガ萬民輔翼ノ大道、世界ニ於テ道德政治ヲ完成スルコト、即チ我ガ大君ノ御稜威ヲ世界ノ有ユル隅々ニマデ推シ及ボサントスル所ノ大業ハ、斯ノ如キ意味ノ「臣民」デナケレバ之ヲ達成スルコトガ出來ナイト云フヤウナ點カラ見マシテモ、或ハ宗教上等ニ於キマシテ多少異論ガアルカモ知レマセヌケレドモ、斯様ニ過去、現在、未來三世ヲ通ジテノ意味ニ解釋シタイノデアリマスガ、此ノ解釋ガ間違ツテ居リマスデセウカ、御教ヲ乞ヒタイノデアリマス

○平沼國務大臣 御述ノ通りニ教育勅語ノ御趣旨ハ、過去、現在、未來ニ共通スルノデアルト考ヘルノデアリマス、御勅語ノ中ニモ「爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン」ト云フ御言葉ガゴザイマス、詰リ祖先ノ君國ニ盡シタル如ク、現在ノ國民モ將來ノ國民モ同ジヤウニ君國ノ爲ニ盡セト云フ御言葉デゴザイマス、固ヨリ此ノ御趣旨ハ過去、現在、未來ニ通ズルコトト考ヘテ居リマス

○佐藤委員 只今御答ニナリマシタ過去未來及ビ現在ヲ通ズルト云フ意味ハ、過去

ハ過去、現在ハ現在、未來ハ未來ト別々ニ引離シタル意味デハナク、吾々ガ御聖旨ヲ戴ク時ニ、同時ニ國民ガ例ヘバ一致協力スルト云フヤウナ場合ニハ、過去ノ人ト雖モ、假令亡クナラレテモ其ノ靈ガアル譯デアリマスカラ、過去ノ人ト又將來ノ人ト一緒ニ

ナツテ、國家ノ爲ニ仕事スルト云フヤウナ意味ニ考ヘタイノデアリマスガ、首相ノ御考ハ是ト同ジデゴザイマセウカ、或ハ別々ニ引離シテ過去、現在、未來ト斯ウ仰シヤルノデゴザイマセウカ、甚ダ諄イヤウデアリマスガ、今一度御伺シタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 先刻申上ゲマシタ通り、是ハ總テニ共通スルコトデゴザイマス、唯文字ノ個々ノ解釋ニ付キマシテハハ色々述ブベキコトモゴザイマセウガ、大體ノ御趣旨ハ仰セノ通りデゴザイマス

○佐藤委員 御勅語ノ中ニアル御言葉ニ付テ今一遍御伺シタイノデアリマス、ソレカラ次ニ私ハ建議委員會ニ我方國號ノ稱呼統一ニ關スル建議案ヲ提出シテ居リマシテ、其ノ委員會ニ於テモ首相ノ御出席ヲ要求シテ居ルノデアリマスガ、再ビ其處ヘオ出デニナルト云フヨリモ、或ハ只今丁度半端ナ時間ガ殘ルカモ知レナイト思ヒマスカラ、ソレニ付テモ最後ニ御伺シタイト思フノデ

アリマスガ、總理大臣及ビ委員長ノ御許シヲ得タイノデアリマス、是ハ國家ノ重大ナ問題デアリマシテ、本委員會ニ無關係デアルト云フコトハ出來ナイト思ヒマスカラ、御許シヲ下サルヤウニ御願致シマス

○野村委員長 簡單ニ發言ヲ許シマス

○佐藤委員 勅語ノ方ノコトヲ簡單ニ申上ゲマス、アノ「天壤無窮」ト云フ御言葉デアリマス、私ハドウモ「天壤無窮」ト云フ言葉ヲ、世間一般ニ通用セラレテ居ルヤウニ、古往今來イツマデモ續クト云フヤウナ意味ダケニ解釋シタクナイノデアリマシテ、アレハ雷ニ時間的ノミナラズ、空間的ニモ天壤ト俱ニ又窮リナイト云フヤウニ解釋シタイ、即チ一ツノ地ダケニ限ラレテ居ルモノデハナイ、即チ所謂八紘一宇ト同ジヤウナ意味ニ「天壤無窮」ト云フ御言葉ヲモ解釋シタイノデアリマスガ、是ハ或ハサウ解釋スル方ガ無理デアリマセウカ、サウ解釋シテ差支ナイデセウカ、若シサウ解釋スルノガ少シ位無理ダトシテモ、サウ云フヤウニ解釋スル方ガ、我方日本ノ國體ニ合フノデア

ルマイカ、單ニ時間的ニ永ク續クト云フバカリデナク、他ノ有ユル極ミ、何處マデモ我方皇室ノ御稜威ハ輝カサシケレバナラナイ、皇運ハイツマデモ續ク、何處マデモ伸

ビルモノデアルト云フヤウニ解釋シタイノデアリマスガ、總理大臣ノ御考ハ如何デアリマスカ

○平沼國務大臣 「天壤ト俱ニ窮リナカルヘシ」ト云フコトハ、天地ト俱ニ窮リナイト云フ意味デゴザイマシテ、空間ノ關係モ時間ノ關係モ兩方含ムト云フ御解釋ハ、決シテ御無理デハナカラウト思ヒマス、併シ唯平易ニ解シマスレバ、詰リ時ト云フコトニナリマス、其ノ時ハ併シ無始無終ト云フコトデアリマス、非常ナ大キナモノデゴザイマシテ、或ハ御説ノ通り解スルノモ決シテ無理デハナイト考ヘテ居リマス

○佐藤委員 ソレデハ建議第五十一號ト致シマシテ、我方國號ノ稱呼統一ニ關スル件ト云フ建議案ヲ提出シテ居ルノデアリマス、此ノ建議案ハ、既ニ前數回ノ議會ニ於テ可決セラレタノデアリマシテ、政府當局ニ於キマシテモ亦其ノ必要ヲ認メテ居ルノデアリマス、即チ國家ガ存立スル以上ハ、ソコニ其ノ國號ガナケレバナリマセヌ、國號ガアル以上ハ國民トシテ之ヲ呼バンケレバナリマセヌ、國民ガ之ヲ呼ブニ、或ハ二様或ハ三様ニ稱ヘラレテ居ルト云フコトハ、甚ダ遺憾ノコトデアリマス、私ハ出來ルナラバ世界中ノ人ニ、同ジヤウニ稱ヘテ戴キタ

イノデアリマスガ、是ニハ順序ガアルト考ヘルノデアリマス、併シナガラ從來ノ我方國情カラ致シマスレバ、或ハ先刻モ御話ニ出マシタヤウニ、外國ニ對シマシテ遠慮スル關係上、外國ニモ大日本帝國ト言ハセル、大日本帝國ハ御承知ノ通り我方正式ノ國號デアルト考ヘルノデアリマス、如何ニ帝國ト云フ文字ニ於テ帝國主義ガ含マレテ居ルノデハナイカト云フヤウナ誤解ヲ受クルニ致シマシテモ、大日本帝國ト云フ憲法ノ表題ガアリ、其ノ表題ノ下ニ第一條ニ於テ「大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」ト御掲ゲニナリマシタアノ欽定ノ憲法 明治天皇ガ御定メニナリマシタ憲法ニ於テ左様ニ謳ハレテアル以上ハ、大日本帝國ト云フ名稱モ亦 明治天皇ガ御定メニナツタ所ノ名稱デアアルノデアリマスカラ、吾々臣民ハ、憲法ガ改正ニナルト云フヤウナコトハ萬アリマスマイケレドモ、サウ云フ場合ハ別ト致シマシテ、帝國憲法ガ嚴存スル以上ハ、大日本帝國ガ我方正式ノ國號デアラネバナラヌト考ヘルノデアリマス、此ノ故ニ現在ノ我國ノ國威隆々タル今日ニ於キマシテハ、最早此ノ國號ヲ世界ニ、我國ノ國號ハ大日本帝國デアルト云フコトヲ御宣布ニナツテモ宜シイ時期デハア

ルマイカ、殊ニ現在ノ内閣ハ之ヲ爲スニ最モ適シテ居ル所ノ内閣デハアリマスマイカト感ゼラルルノデアリマス、然ルニ歷代ノ政府ハ同意ヲシテ居ラレナガラ、之ニ對スル所ノ努力ニ非常ニ缺ケテ居ル所ガアリマシテ、政府ノ一部ノ間ニハ極メテ熱心ニ此ノ問題ヲ取扱ツテ、徹底スルヤウニ努力セラレテ居ルコトハ事實デアリマスルケレドモ、政府全體ト致シマシテ、マダ我が國號ノ稱呼ヲ統一スルト云フマデニ至ツテ居ラスノデアリマス、即チ或者ハ「ニホン」ト云ヒ、或者ハ「ニッポン」ト云フノデアリマス、「ニホン」「ニッポン」ト云フノハ是レ固ヨリ略稱デアリマシテ、正式ノ國號デナイカモ知レマセケレドモ、或ハ大ラ略シ、或ハ帝國ヲ略シテ、略稱ヲ以テ呼ブコトハ別ニ差支アルマイト思フノデアリマス、併シ「ニホン」「ニッポン」ト兩様ニ呼ブト云フコトハ、是ハ國民トシテ忍ブベカラザルコトデアラウト考ヘルノデアリマス、苟モ自分ノ國ヲ愛スルナラバ、其ノ國號ヲモ愛センケレバナラスノデアリマス、國號ヲ愛スルナラバ、日本中ノ國民ガ全部舉ツテ同ジヤウニ稱呼センケレバナラス、大日本帝國萬歲ト云フ時ニ、或人ハ大「ニホン」帝國萬歲、或人ハ大「ニッポン」帝國萬歲ト云フヤウデ

ハ、私ハ國民トシテ特ニ愛國心ノ燃ユルガ如キ、他ノ國民ト違ツタル所ノ此ノ國體觀念ニ徹底シテ、國民精神ガ横溢シテ居ル所ノ國民ノ間ニハ、忍ブベカラザルコトデアルト考ヘルノデアリマス、然ルニ從來ノ政府ハ之ニ對シテ努力セラレナカッタノデアリマス、之ヲ一ツノ例ヲ以テ申上ゲマスト、逓信省ナドハ今マデ外國ヘ出ス所ノ郵便物ノ消印等ニ於テ「ジャパン」ト云フノ「ニッポン」ト改メラレマシタ、又「ラヂオ」ノ「アナウンサー」ニハ「ニッポン」ト稱呼スルヤウニシテ居ラレマス、又商工省ニ於キマシテハ「メード・イン・ジャパン」ト云フノ「メード・イン・ニッポン」トシテ出サレタサウデアリマス、併シ是ハ通商條約等ガマダ直ツテ居ラスノデアリマスカラ、「メード・イン・ジャパン」トセナケレバ品物ガ向フヘ運ビ出サレルコトガ出來ナイ、外國ヘ通用シナイト云フノデ積戻サレタト云フコトデ、再ビ「メード・イン・ジャパン」トシテ出シタト云フコトデアリマスガ、洵ニ遺憾ノコトデアリマス、政府ニシテ努力セラレルナラバ、政府ニ於キマシテモ陸軍ノ如キハアノ軍人ニ賜ツタ五箇條ノ勅諭ノ中ニ「日本國ノ蒼生舉リテ之ヲ悦ヒナン」ト云フ所ニ「ニホンコク」ト云フ假名ガ附イテ居ルノデ

アリマスガ、此ノ假名ハ便宜陸軍ニ於テ附ケタノデアツテ、陛下ガ勅諭トシテ御出シニナル時ニハ假名ヲ附ケテ御出シデナイノデアリマス、假令今マデ「ニホンコク」ト呼ビ做ツテ來テモ、「ニッポンコク」ト改メタルハ差支ナイト云フ御意見デアリマセウト思フノデアリマスガ、昨年ノ建議委員會ノ政府委員カラ、陸軍ハ「ニッポン」ト云フヤウニ統一シツツアルト云フ御答辯ヲ得タノデアリマス、マダ例證ハ色々澤山アルノデアリマシテ、極メテ喜ブベキ所ノ例證モアリ、又悲シムベキ幾多ノ例證モアルノデアリマスカレドモ、政府ノ努力如何ニ、此ノ事ガ實現セラレルト否トガ懸ツテ居ルト思フノデアリマス、平沼内閣ノ如キ内閣ハ速ニ此ノ問題ヲ實行ニ移シ、一日モ早く實現セラレタイト思フノデアリマシテ、吾ガ明年紀元二千六百年ヲ奉祝スルニ當ツテ、日本ノ國民ハ勿論、世界ニ於ケル我が日本國ヲ贊助スル所ノ國民ト共ニ、舉ツテ大「ニッポン」帝國ノ萬歲ヲ叫ブヤウニスルノニハ、平沼内閣ノ格段ナル御努力ヲ御願シタイノデアリマス、是ハ教育ノ方面カラ見マシテモ頗ル重大ノ問題デアラウト思ヒマスルノデ、私ハ此ノ際私ノ建議案ニ付テ申述ベマシテ、甚ダ非禮デアツタカモ知レマセ

スガ、總理大臣ノ御考ヲ拜聽致シマシテ、若シ御同意デアラナラバ格段ノ御努力ヲ御願シタイト思フノデアリマス

○平沼國務大臣 只今御述ノコトハ諒承致シマシタ、考慮ヲ致シマス

○野村委員長 モウ宜シウゴザイマスネ――

田子君、何カ御質問ガアルノデスカ

○田子委員 一寸アリマスガ……

○野村委員長 宜シウゴザイマス、簡單ニ願ヒマス

○田子委員 私ハ最後ニ一言御伺スルコトニナツテ居リマシタガ、幸ヒ總理ガ御出席デアリマスカラ、青年學校義務制ニ關聯致シマシテ御尋致シマス、從來青年指導ノ爲ニ民間デ非常ニ働イテ居ラレル方々ガ多イノデアリマス、今後ハ青年學校ハ義務制ニナリマシテ、統一サレルデアリマセウケレドモ、從來ノ私ノ三十年間ノ經驗ニ顧ミマシテ、小學校カラ上ノ學校ニ學ブ者以外ノ子供ハ、日本デハ殆ド捨テラレテ居ルヤウナ實ニ殘念ナ狀況デアリマシタガ、斯様ナ狀況ヲ見マシテ、帝國ノ將來ニモ鑑ミテ、民間ノ志士トモ言ハレルヤウナ方々ガ或ハ法人ヲ作り、或ハ法人ナラザル會等ヲ起シテ、隨分働カレテ來テ居ラレマス、中ニハ既ニ故人ニナリマシテ、其ノ功績ハ青年ノ

間若クハ著書等ニ依ツテ殘ツテ居ルノモアリマスガ、現在デモ私達ノ目ノ前ニ澤山ノ斯様な功勞者ガアルト思フノデアリマス、日本ノ制度ノ立テ方ハ、官界ニ居リマス者ハ年限ニ依リマシテ相當ノ國家的ノ御待遇モアルノデアリマスガ、官吏ト同ジヤウナ國家ノ目的ニ副ツタ民間ノ功勞者、盡力者ト云フ者ハドウモ忘レラレルヤウナ形ニアルト思フノデアリマス、私ハ官吏ヲ致シマシタ關係デ、斯ウ云フヤウナ方々ノ努力ヲ非常ニ感謝シ、敬意ヲ表シテ居ルト同時ニ、是等ノ人々ハ何等國家的御待遇ノナイコトヲ平素頗ル遺憾ニ感じテ居ルノデゴザイマス、勿論是等ノ當事者ノ方々ハ國家的ノ觀念カラ、又青年ヲ愛スル熱情カラ活動ヲシテ居ラレルノデアリマシテ、決シテ國家ノ御待遇トカ云フコトヲ眼中ニ置イテ居ラレルトハ思ハヌノデアリマス、併シ私達年少時代ノ經驗カラ見マシテモ、地方ニ在ツテ中央ノ大臣或ハ次官トカ、局長トカ、課長トカ云フ方々カラ葉書一枚戴イテモ、隨分感奮興起サセラレタコトヲ思フノデアリマス、斯様な民間ノ青年教育ニ盡力シテ居ル方々ニ對シテ、國家的ニ何等カノ御獎勵ノ途——若シ其ノ人々ガ其ノ會ノ維持ニ財政上困ツテ居ルナラバ、財政上ノ御援ケ

ヲ戴クコトモ宜カラウト思ヒマスシ、又其ノ會等デ個人トシテ、非常ナ國家的ニ功勞ヲナサツテ居ルト見ラレルナラバ、或ハ叙位叙勳等ノ御奏請ヲ戴イテモ宜シイト思フノデアリマス、又左様ニ參リマセヌデモ、文部當局ニ於テ何等カノ御優遇ノ途ヲ御考ヘ下サルコトモ宜カラウト思ヒマス、ソレデ私ハ其ノ範圍方法等ニ付テハ何等限定ヲ申上ゲル者デハアリマセヌガ、兎ニ角民間ニ居ル者モ、國家ノ目的ニ副ツテ働ク功勞ノ顯著ナ者ニ對シテハ、親切ニ能ク調べテ上ゲテ優遇ノ途ヲ講ジテ戴キタイノデアリマス、長ク申セバ長イ議論ニナラウト思ヒマスケレドモ、趣旨ハ、政府トシテ斯様なコトニモ御留意ニナツテハ如何デアルカ、唯ソレハ考慮シテ見ウツ云フ簡單ノコトデナシニ、此ノ際青年學校ノ義務制ガ實施セラレルノデアリマスカラ、從來ノモノニ對シテモ何等カノ御考ヲセラレタナラバドウカト思ヒマス、ドウゾ御答辯ヲ願ヘレバ幸ダト思ヒマス

○平沼國務大臣 御述ノ點ハ洵ニ御尤ニ考ヘマス、在來ト雖モ民間ノ功勞者ニ對シマシテ叙位、叙勳其ノ他功勞ヲ認メラレテ特別ノ御沙汰ノアツタコトモゴザイマス、併シナガラ仰セノ通りモウ少シ廣キ範圍ニ於テ之ヲ認メル必要モアルヤウニ自分モ考ヘテ居リマス、此ノ點ハ當局トモ謀リマシテ考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

○田子委員 洵ニ感謝ヲ致シマスガ、私ノ率直ナ實感ヲ述ベマス、兎角官界ニ於キマシテハ、官吏以外ノ爲スコトハ諒解、同情、激勵ト云フヤウナコトガドウモ力ガ抜ケ勝チデアリマシテ、自分ノスルコトハ立派デアルガ、餘所ノスルコトハ必ズシモ之ヲ尊重シナイ、況ヤ民間ノ人々ノヤルコトハ尊重シナイ、モツト極端ニ申セバ寧ロ斯ウ云フコトヲ政府ニ相談シマス、ウルサイト云フヤウナ態度デ臨マレルコトガ屢、デアリマス、是ハ私達官界ニ居リマシテ、自分デモ自ラ恥トスルノデアリマスガ、ドウゾ總理大臣カラ文部大臣ナリ、内務大臣ナリニ御命令ヲ戴クト同時ニ、又實際ノ事務ニ携ラレル人々ニ對シマシテモ、能ク總理ノ御趣旨ガ徹底スルヤウニ御願ヲシタイト思ヒマス、從來ノ此ノ委員會等デ長イ發言ガアリマシテモ、唯ソレハ速記録ニ遺ルダケデアリマシテ、ドウモ實效ガ速ニ舉ルト云フコトハ少イヤウニ思ヒマス、ドウゾ左様ナ點ヲ御留意戴キタイト思ヒマス

○野村委員長 今日ハ此ノ程度デ散會致シマス、次會ハ月曜ノ午後一時カラ開會スル

コトニ致シマス
午前十一時五十分散會